2020年度決算及び
2021年度業績見通し 説明資料

星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2021年2月22日

目次

✧ Ⅰ. 事業内容・当期の事業環境　P 2～4

✧ Ⅱ. 2020年度決算（連結）　P 5～8

✧ Ⅲ. 2021年度業績見通し（連結）　P 9～11

✧ Ⅳ. 事業別動向　P 12～18

✧ Ⅴ. 中期経営計画「New Stage 2021」　P 19～21

✧ Ⅵ. ESG・SDGsへの取り組み　P 22～23

＜予想に関する注意事項＞

・本資料では情報の提供を目的としており、勧誘行為を行うものではございません。
・業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高および利益は、記載している予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
・当社は業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。
・本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

Ⅰ.事業内容

➢ 製紙用薬品事業

紙力増強剤
サイズ剤
家庭紙用薬品
製紙用補助薬品

<主な用途>
紙　　新聞用紙、印刷・情報用紙
　　家庭紙 他
板紙　段ボール原紙
　　紙器用紙 他

➢ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂
粘着剤(新綜工業)
セルロースナノファイバー(CNF)

<主な用途>
フレキソ・グラビア・オフセットインキ 他
LBPプリンター用トナー 他
工業用両面テープ 他
ランニングシューズ 他

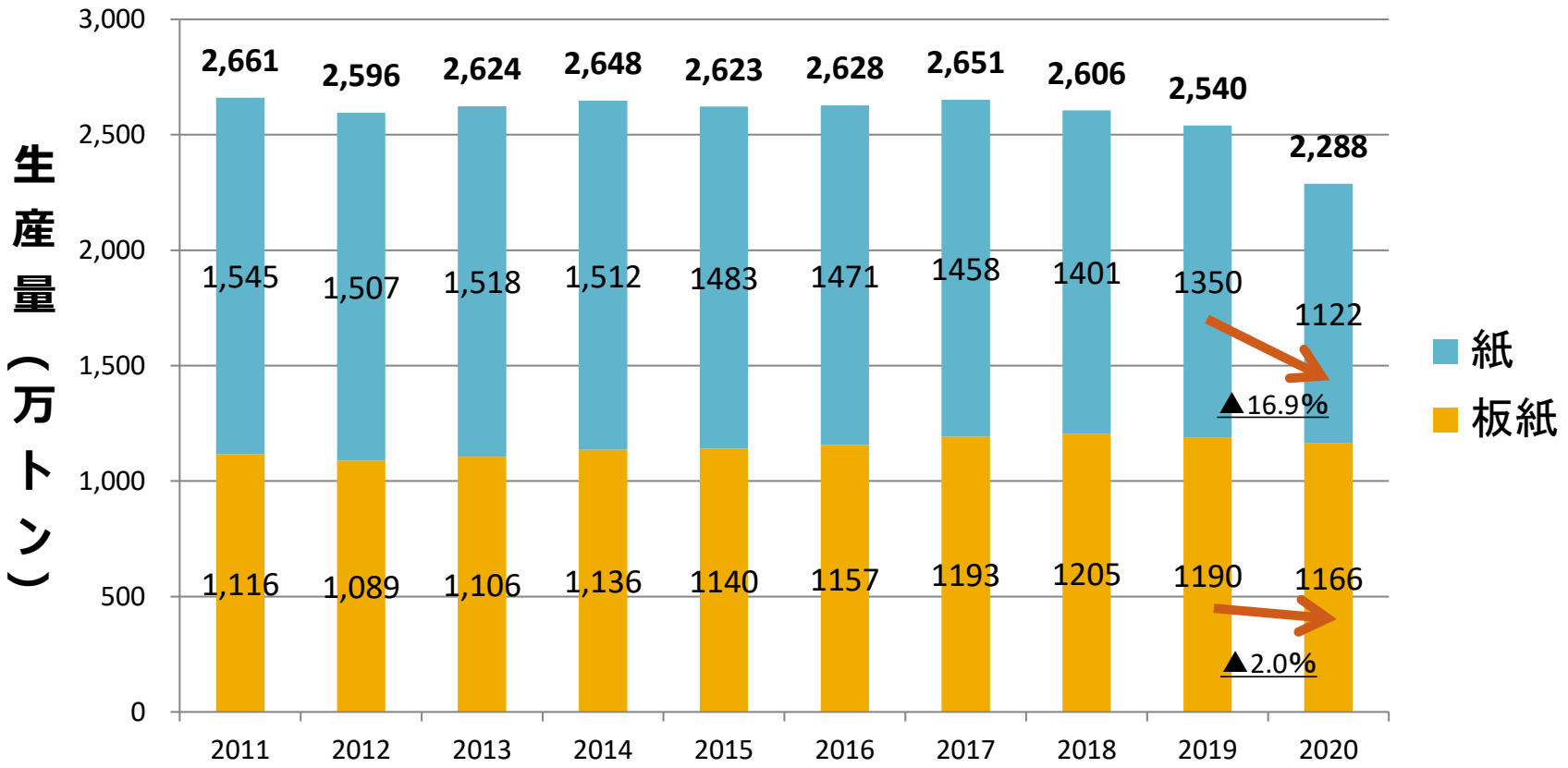
➢ 化成品事業(KJケミカルズ株式会社)

各種機能性モノマー 他

<主な用途>
UVコート剤・インキ、水系塗料、
製紙用薬品、粘・接着剤、
石油掘削用ポリマー、化粧品、電子材料 他

Ⅰ.当期の事業環境（紙・板紙の国内生産量）

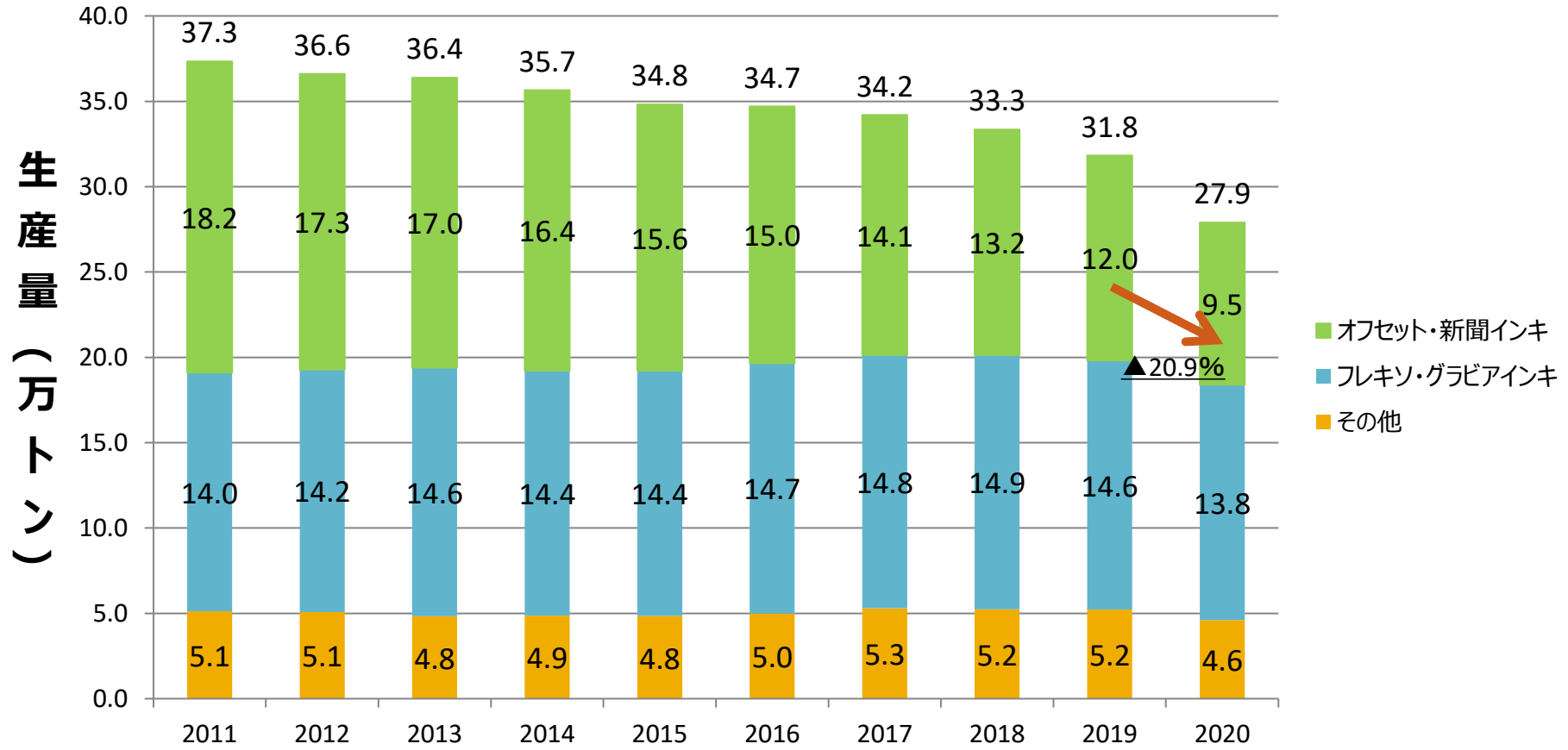
・2020年の紙・板紙の国内生産量は、2,288万トンと、新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響を受けて減少した（前年比▲9.9%）
・紙の生産量は、衛生用紙は堅調だったものの、印刷情報用紙等が大幅に減少し、16.9%減少した
・堅調だった板紙の生産量も、段ボール原紙は輸出増加もあって堅調だったものの、白板紙等が減少し、2%の減少となった



（出典）経済産業省生産動態統計

Ⅰ.当期の事業環境（印刷インキの国内生産量）

・2020年の印刷インキ国内生産量は27.9万トン(前年比▲12.1%)と
　新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた
・オフセット・新聞インキは、情報媒体の電子化が加速し、減少がさらに顕著となった
・比較的堅調だったフレキソ・グラビアインキも、減少した



（出典）経済産業省生産動態統計

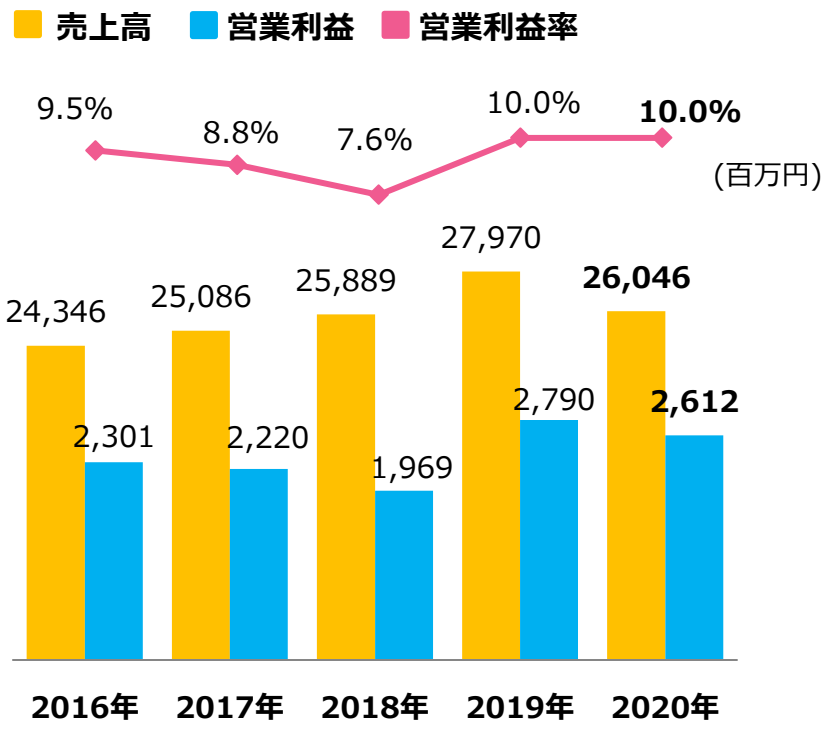
II.2020年度決算（連結）概況

（百万円）	2019年度	2020年度		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	27,970	26,046	▲1,924	▲6.9%
営業利益	2,790	2,612	▲178	▲6.4%
営業利益率	10.0%	10.0%	-	-
経常利益	2,839	2,667	▲172	▲6.1%
経常利益率	10.2%	10.2%	-	-
当期純利益	1,961	1,685	▲276	▲14.1%
減価償却費	1,072	1,188	+116	+10.8%
設備投資	1,621	2,660	+1,039	+64.1%
研究開発費 （対売上高比率）	1,766 (6.3%)	1,810 (6.9%)	+44	+2.5%

為替：1ドル＝107円（2020年度平均）、1ドル＝109円（19年度平均）

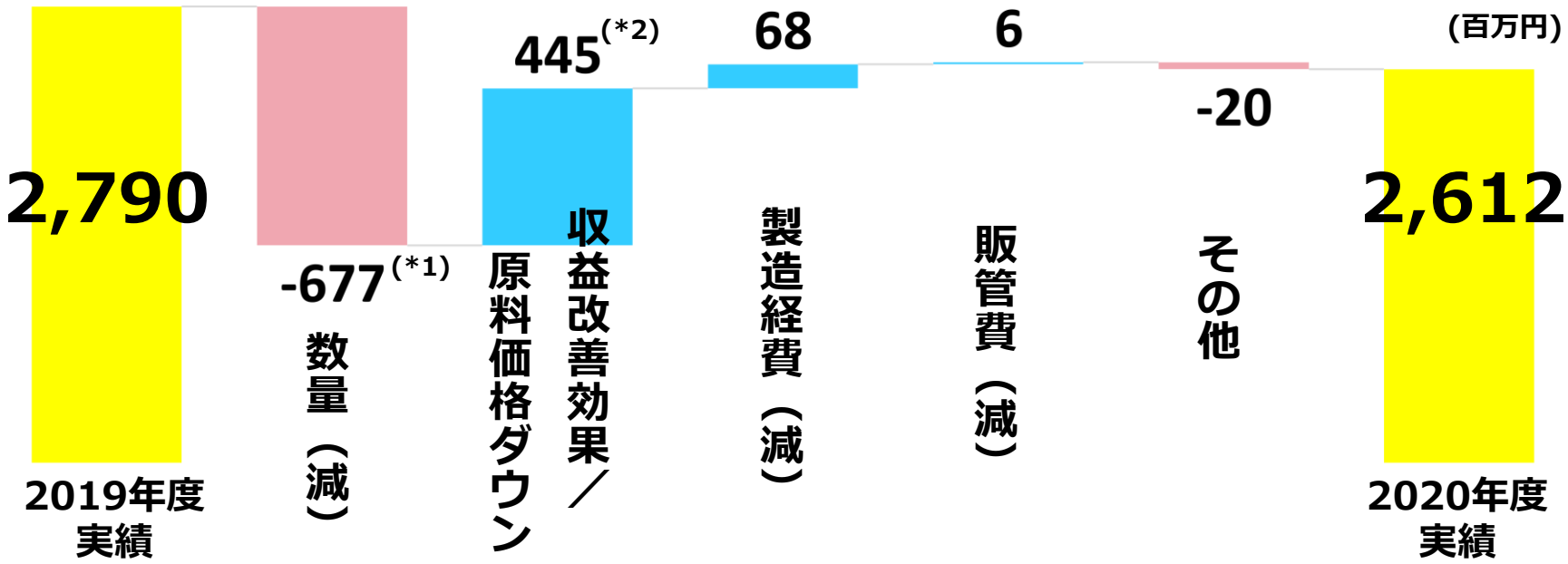
売上高：新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要減により減収

営業利益：数量減のマイナス分を経費圧縮及び原料値下がりでカバーできず減益



Ⅱ.2020年度決算（連結）営業利益増減分析

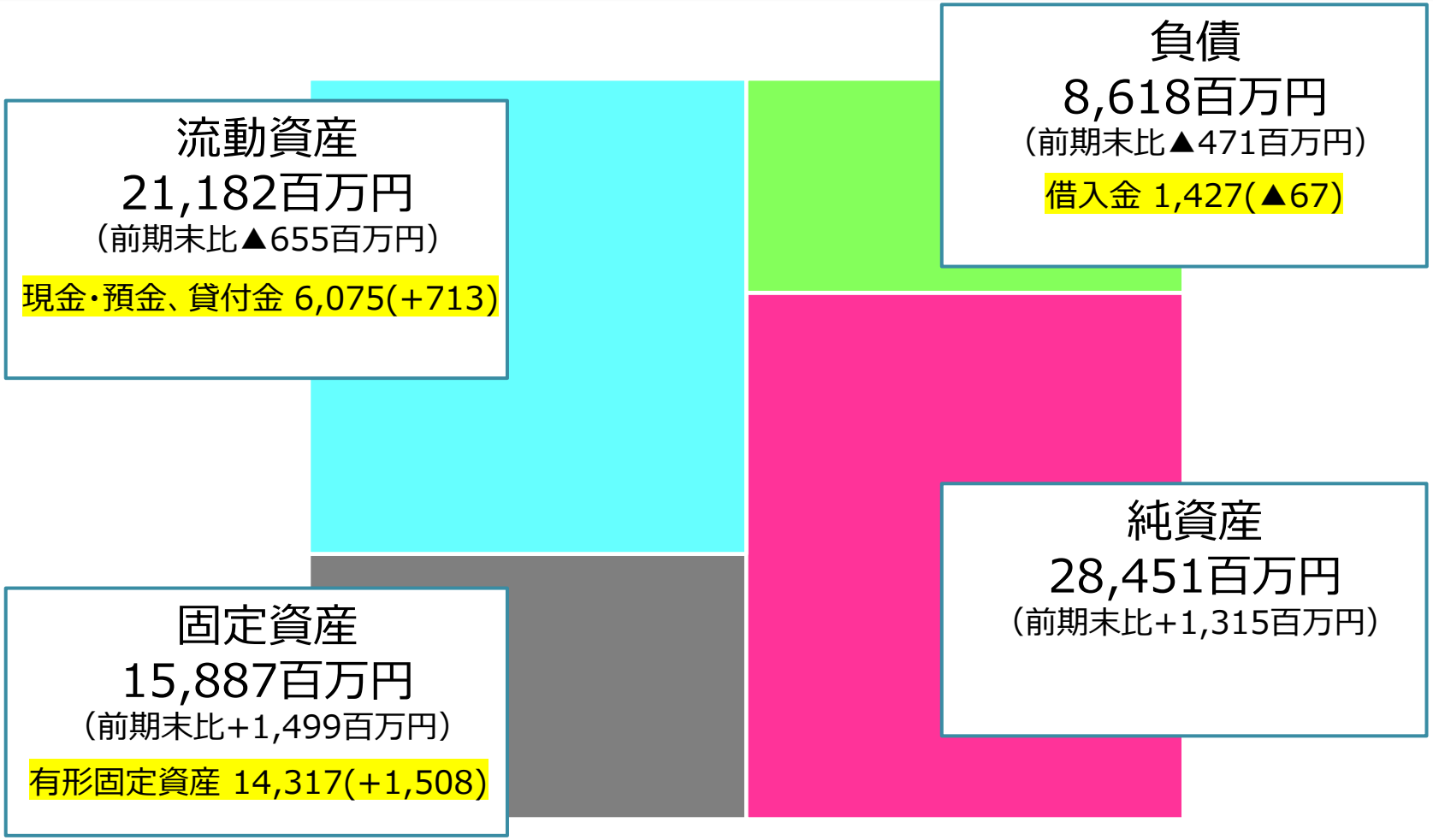
2019年度実績 → 2020年度実績
2,790百万円 → 2,612百万円（▲178百万円、▲6.4%）



(*1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要減
(*2) 原料調達の多様化による収益改善効果、原料価格ダウン

II.2020年度決算（連結）連結貸借対照表

・実質無借金：手元資金 （現金、預金、貸付金） 6,075百万円 ＞ 借入金 1,427百万円
・有形固定資産：ベトナム及び台湾（新綜工業）の新工場建設により、1,508百万円の増加
・自己資本比率：72.4%と引き続き高水準で推移



Ⅱ.2020年度決算（連結）キャッシュ・フロー

（百万円）		2019年度（1-12月）	2020年度（1-12月）
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	2,827	2,631
	減価償却費	1,072	1,188
	法人税等の支払額	▲577	▲598
	運転資本の増減額	▲174	1,000
	その他	130	▲201
	計	**3,278**	**4,020**
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出	▲1,486	▲2,683
	投資有価証券の取得による支出	▲6	▲6
	短期貸付金の純増減額	▲758	608
	その他	▲61	▲29
	計	**▲2,311**	**▲2,110**
財務活動によるCF	配当金の支払額	▲500	▲500
	その他	▲211	▲80
	計	**▲711**	**▲580**
現金および現金等価物に関わる換算差額		▲13	▲7
現金および現金等価物の増減額		242	1,322
現金および現金等価物の期首残高		1,421	1,663
現金および現金等価物の期末残高		**1,663**	**2,985**

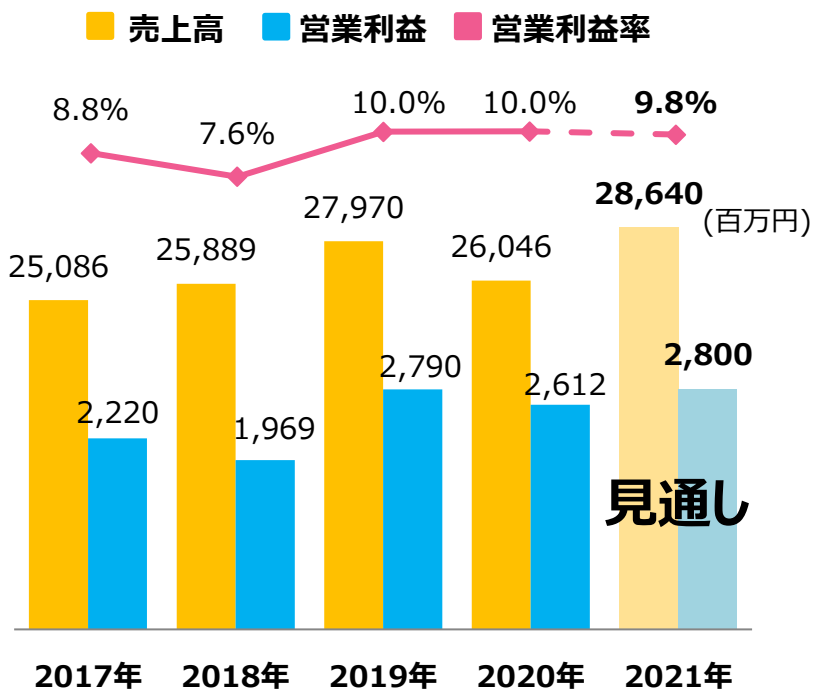
Ⅲ.2021年度業績見通し（連結）

(百万円)	2020年度	2021年度		
	実績	見通し	増減	増減率
売上高	26,046	28,640	+2,594	+10.0%
営業利益	2,612	2,800	+188	+7.2%
営業利益率	10.0%	9.8%	-	-
経常利益	2,667	2,860	+193	+7.2%
経常利益率	10.2%	10.0%	-	-
当期純利益	1,685	1,790	+105	+6.2%
減価償却費	1,188	1,460	+272	+22.9%
設備投資	2,660	4,000	+1,340	+50.4%
研究開発費 （対売上高比率）	1,810 (6.9%)	1,962 (6.9%)	+141	+7.8%

前提条件：為替1ドル=106円（2020年度平均：1ドル=107円）

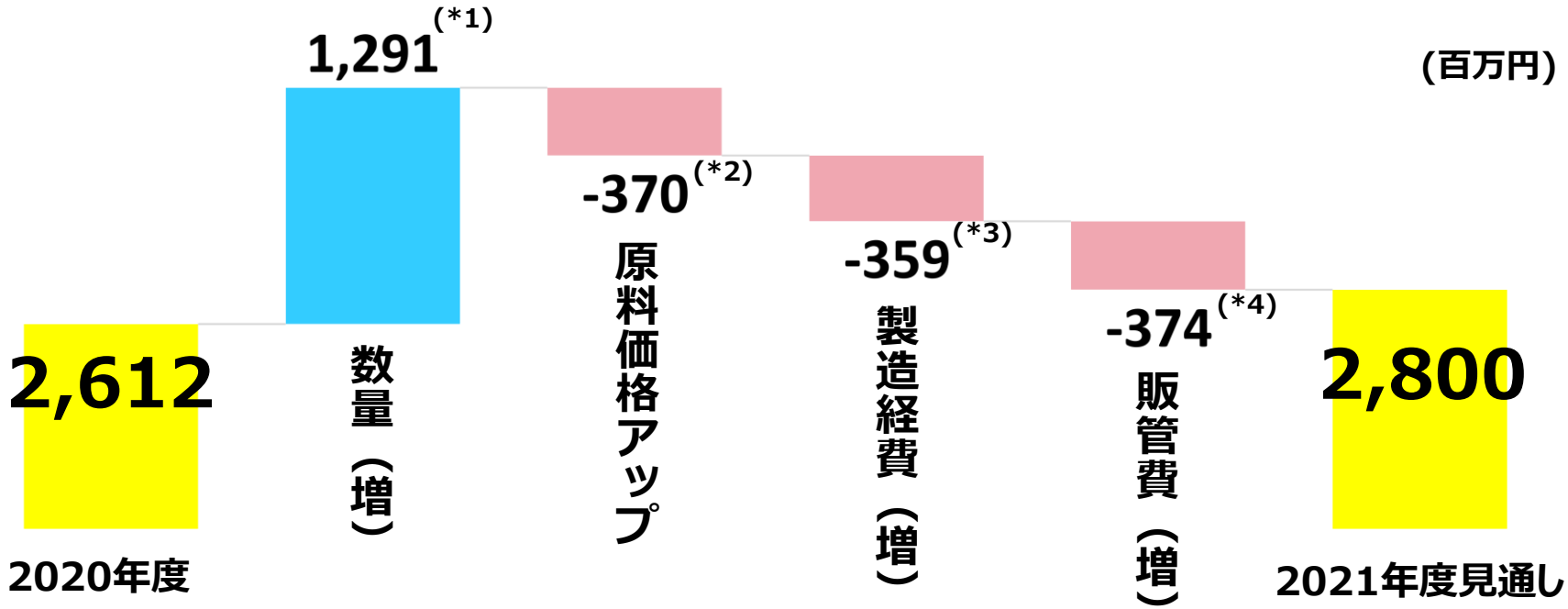
売上高：国内の需要回復及び海外での拡販を中心に増収を見込む

営業利益：ロジンなどの原料値上がりも、売上増加により増益の見込み



Ⅲ.2021年度業績見通し（連結）営業利益増減分析

2020年度実績 → 2021年度見通し
2,612百万円 → 2,800百万円 (+188百万円、+7.2%)

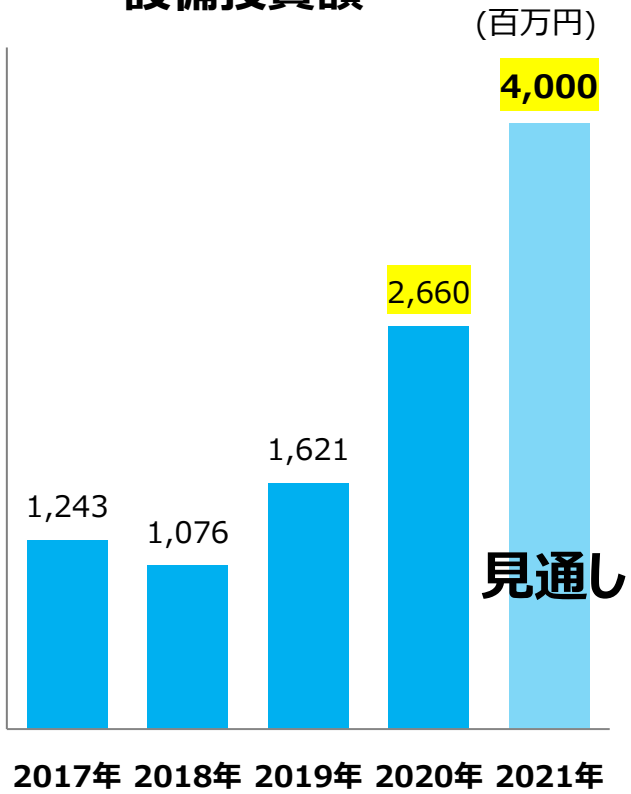


(*1) 国内の需要回復および、海外を中心とした販売数量増
(*2) ロジン原料価格高騰などに伴う原料価格アップ
(*3) 設備投資に伴う減価償却費を中心とした製造経費増
(*4) 研究開発投資や海外展開諸費用を中心とした販管費増

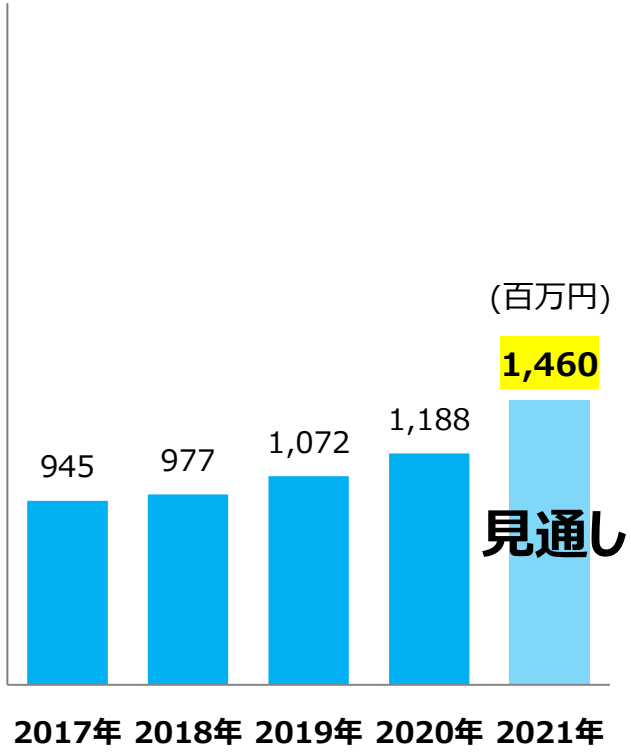
Ⅲ. 設備投資及び研究開発費

2021年計画
- 設備投資額は、ベトナム工場の投資を中心に国内外で40億円を計画
- 減価償却費として1,460百万円、研究開発費は1,962百万円を予定

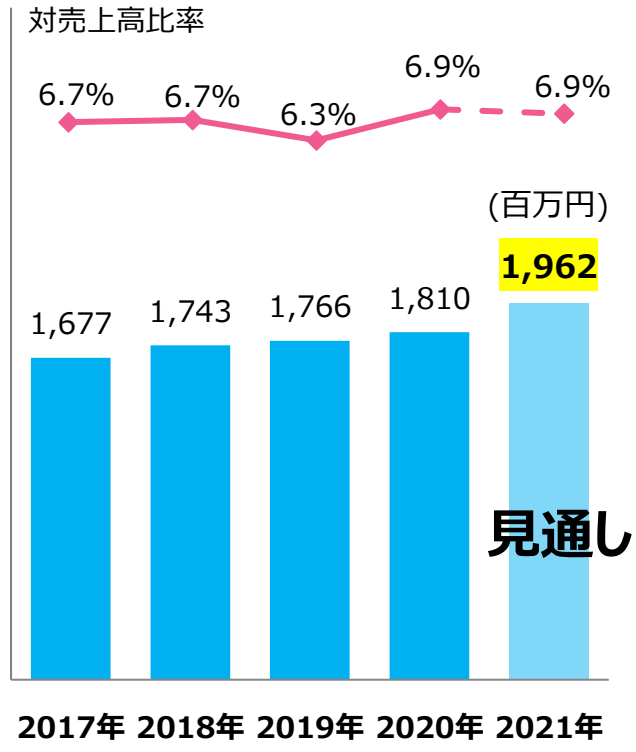
設備投資額



減価償却費



研究開発費



Ⅳ.製紙用薬品事業　①実績および見通し

通期実績				
(百万円)	2019年度	2020年度	増減	増減率
売上高	17,011	15,001	▲2,010	▲11.8%
営業利益	1,801	1,453	▲348	▲19.3%

通期見通し		
2021年度	増減	増減率
16,948	+1,947	+13.0%
1,509	+56	+3.9%

2020年度実績

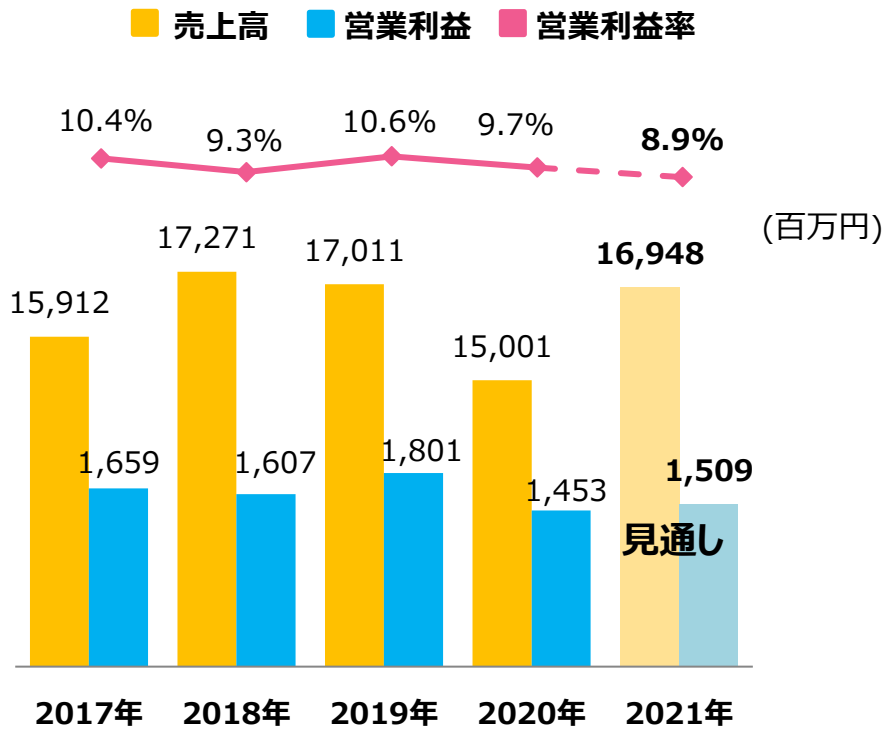
売上高：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、ほとんどの紙種で生産量が減少し、販売数量減により、減収

営業利益：売上減少のため、減益

2021年度見通し

売上高：段ボール原紙を中心とした需要の回復、及び、東南アジアにおける拡販により増収を見込む

営業利益：売上増も、原料価格値上がり・諸経費増により、微増



Ⅳ.製紙用薬品事業　②ベトナム子会社設立

ASEAN各国の経済成長に伴う、段ボール原紙を始めとする紙・板紙の旺盛な需要と今後のさらなる需要増を見据え、ベトナムに製紙用紙力増強剤等を製造・販売する現地法人を2019年12月に設立しました。製造工場は2021年末の完工を目指す。

商号：SEIKO PMC VIETNAM CO., LTD.

資本金：12億円相当（11.2mil USD、当社100%出資）

生産能力：３万トン/年

Ⅳ.樹脂事業　①実績および見通し

通期実績					通期見通し		
(百万円)	2019年度	2020年度	増減	増減率	2021年度	増減	増減率
売上高	7,055	6,844	▲211	▲3.0%	7,559	+715	+10.5%
営業利益	804	800	▲4	▲0.5%	1,082	+282	+35.3%

2020年度実績

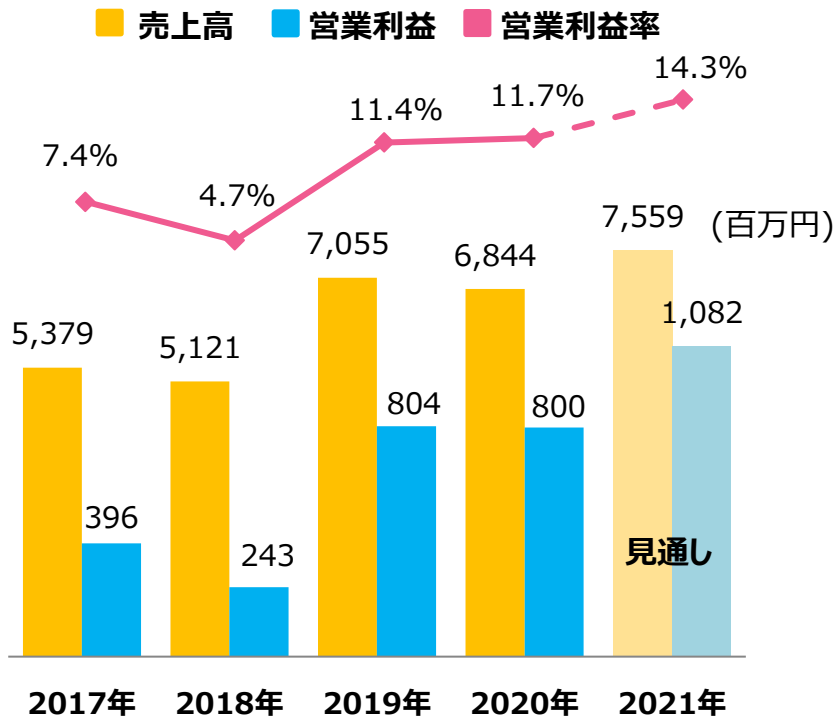
売上高：粘着剤（新綜工業）の拡販が進んだものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴うインキ・トナー用樹脂の販売数量減により、減収

営業利益：新綜工業の業績伸長により、前年並み

2021年度見通し

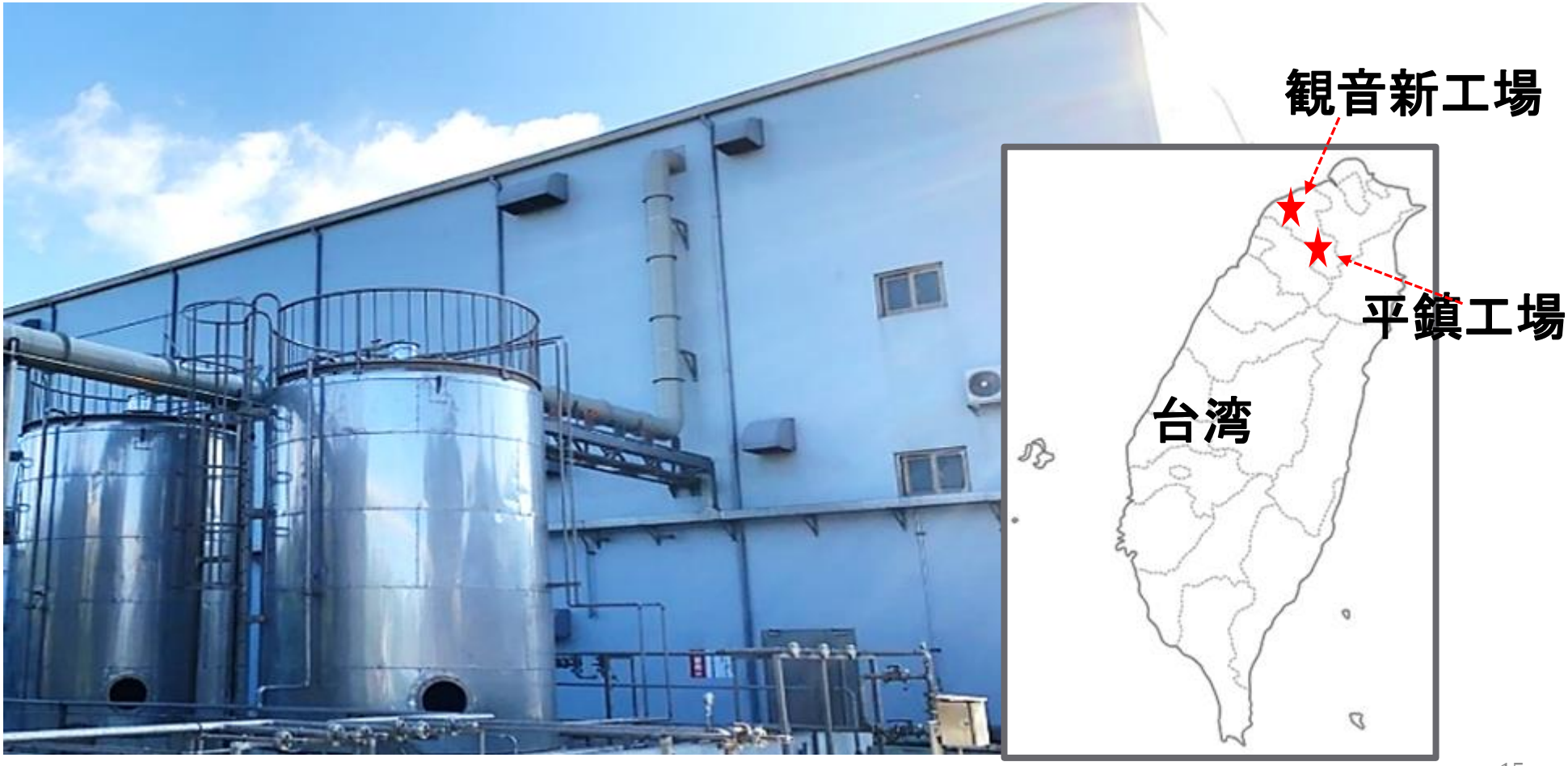
売上高：既存製品の国内需要は引き続き厳しいものの、高付加価値製品及び粘着剤の拡販により増収を見込む

営業利益：高付加価値製品を中心とした売上増により、増益の見込み



Ⅳ.樹脂事業　②新綜工業 観音工場建設

新綜工業の粘着剤は、コロナ禍においても、顧客から根強い引き合いがあり、今後のさらなる需要増を見据え、粘着剤の拡販・安定供給向上を行うべく、新工場を建設し、台湾二工場体制（平鎮・観音）を構築、生産能力を倍増させた。



Ⅳ.樹脂事業　③脱プラ・紙化への取り組み

紙塗工用水性エマルション(FDA収載)の上市

紙へ塗工することで、ポリエチレンラミネートを代替でき、リサイクルも可能なため、食品包装等の脱プラスチックに貢献

ハイロス-X・PE-2273

ヒートシール性に特徴があるFDA収載製品。ポリエチレンラミネートにより得ていた耐水性、耐油性、ヒートシール性を高いレベルで得ることが出来る。

テクニカルレビューは
QRコードから

用途例（冷凍食品パッケージ）

環境に優しい循環型資源である紙の高機能化をはじめとして、
廃棄プラスチック、海洋プラスチックの問題解決に向けた素材を開発

Ⅳ.化成品事業

通期実績				
(百万円)	2019年度	2020年度	増減	増減率
売上高	3,902	4,199	+297	+7.6%
営業利益	543	716	+173	+31.8%

通期見通し		
2021年度	増減	増減率
4,140	▲59	▲1.4%
621	▲95	▲13.3%

2020年度実績

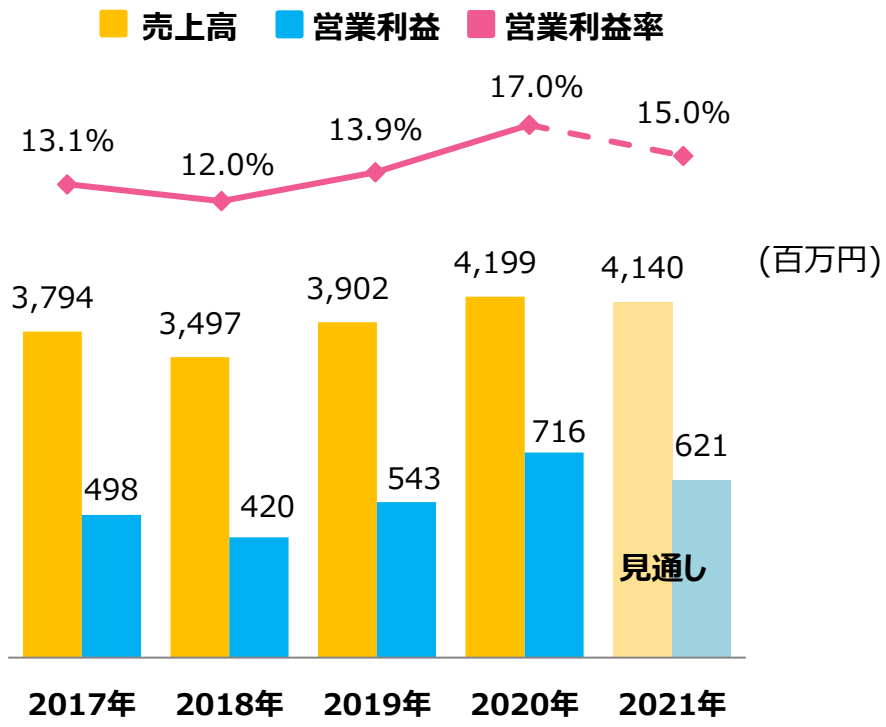
売上高：中国、台湾向けIJインキ用製品、及び米国向け水性塗料用製品が好調、環境対応型溶剤の販売も増収に寄与

営業利益：売上増及び経費節減により増益

2021年度見通し

売上高： 2020年後半の海外需要が好調だった反動もあり、減収を見込む

営業利益：原料値上がり、設備投資による償却費増加により、減益の見込み



Ⅳ.CNF配合樹脂「*STARCEL®*」

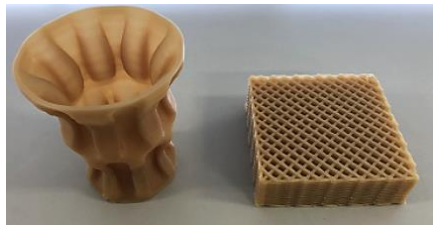
自動車用部材へ採用を目指し検討継続

STARCEL®

- 環境省NCV(Nano Cellulose Vehicle)プロジェクトにて得られた知見を基に課題解決へ向け検討中
- CNF配合樹脂「*STARCEL®*」の自動車用部材への採用により自動車の軽量化による燃費向上及びCO_2削減を目指す
- 大幅なコストダウンを目指し、製造方法の改善を推進

用途展開を加速

- サステナブルで高機能素材であるCNFが活きる用途
- CNFの3D造形への応用
- 自動車、家電、日用品、建材等の様々な用途にCNFを展開



エス.ラボ株式会社様ご提供
３D造形物

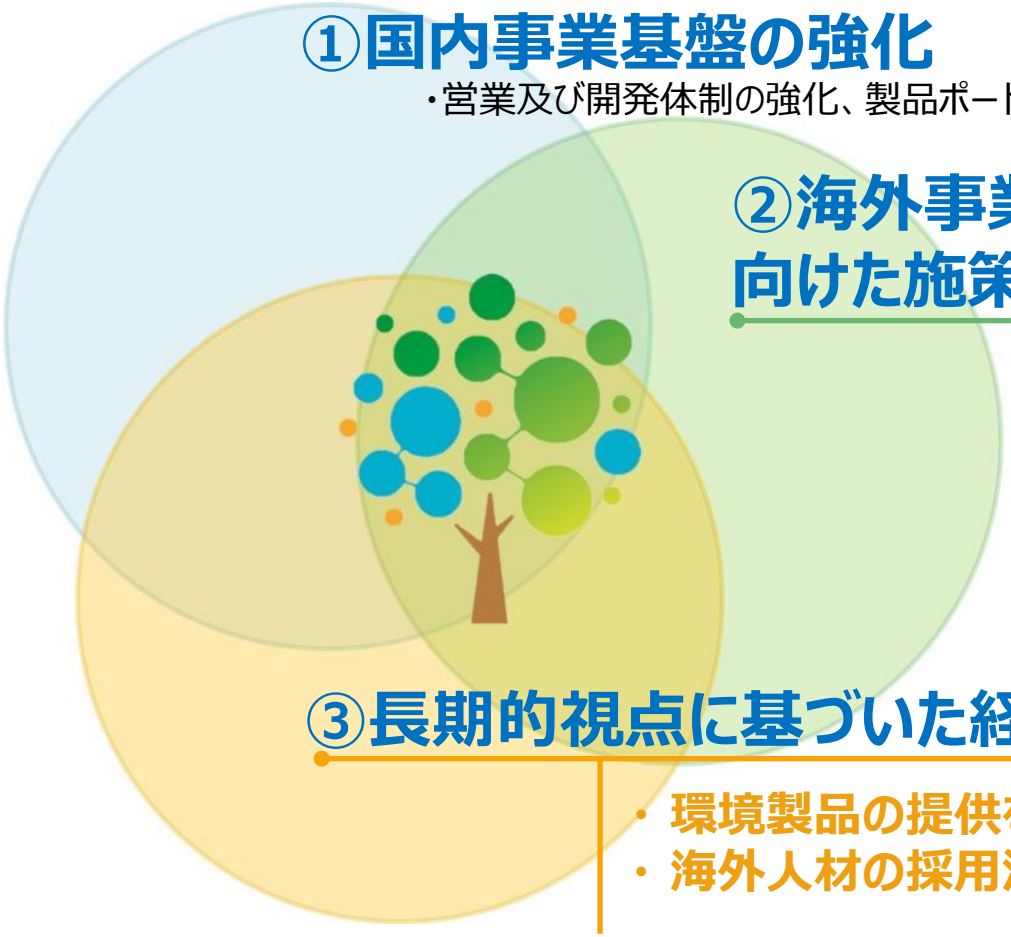
エコテクノロジーであるCNFの研究開発ならびに、お客様との取組みを加速させ、人と環境が共生する豊かな社会の発展に貢献

V.中期経営計画「New Stage 2021」 ①概要

New Stage 2021（2019～2021年度）

基本方針：

これから益々必要とされる**環境技術を軸に**、国内事業基盤を堅持し、成長著しい海外に積極展開し、新事業構築を通じて**持続的社会の実現に貢献するグローバル企業**を目指します。



①国内事業基盤の強化

・営業及び開発体制の強化、製品ポートフォリオの変革

②海外事業拡大・新事業構築に向けた施策の実施

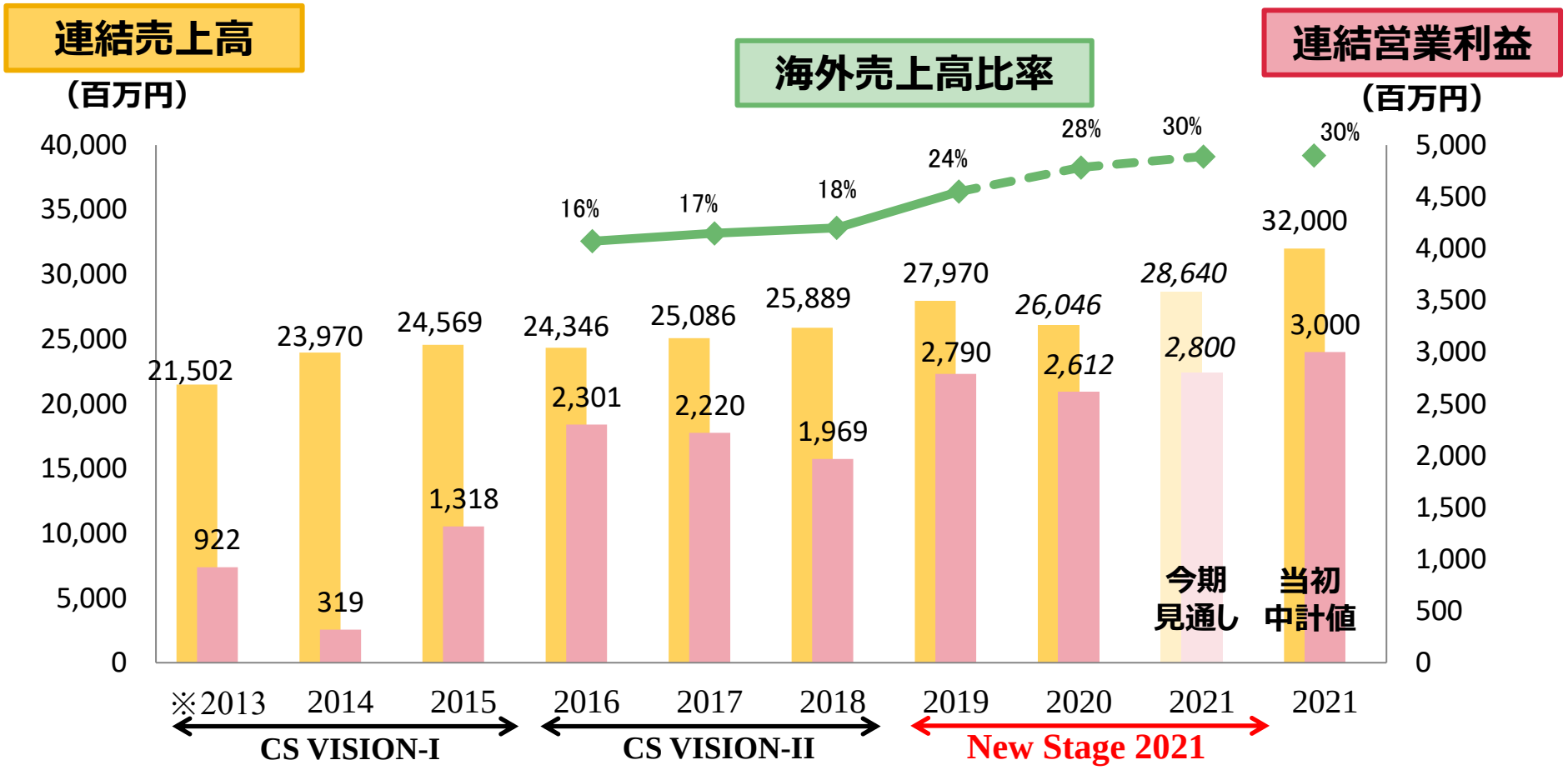
- ベトナム子会社設立による製紙用薬品の海外事業拡大
- 新綜工業（台湾）の新工場稼働による粘着剤の事業拡大
- CNF、AgNW事業化の推進

③長期的視点に基づいた経営基盤の構築

- 環境製品の提供を通じた地球環境への貢献
- 海外人材の採用活動強化、育成を支える制度構築

V.中期経営計画「New Stage 2021」 ②業績推移

連結売上高及び連結営業利益、海外売上高比率の推移

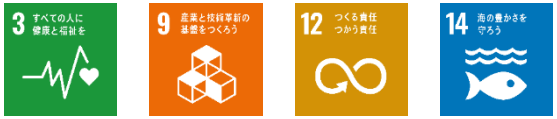


※2013年度は決算期変更に伴い9か月決算であったため同一期間（1-12月）で表記

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中計目標値には未達見通しであるが、海外事業拡大・新事業構築に向けた施策を推進

V.中期経営計画「New Stage 2021」 ③Green Index

Green Index：当社環境戦略製品の売上指標



リサイクル促進

★乾燥紙力剤
（古紙リサイクル）

天然素材活用

★CNF（セルロース）
★バイオマスインキ用樹脂

低環境負荷・低VOC

★水性インキ用樹脂
★脱プラ関連製品
★水性モノマー・ 環境対応型溶剤
★無溶剤型粘着剤

排水浄化

★乾燥紙力剤（澱粉代替）
★微生物製剤（排水処理）

エネルギー低減

★乾燥紙力剤（生産性向上）
★CNF（自動車軽量化）

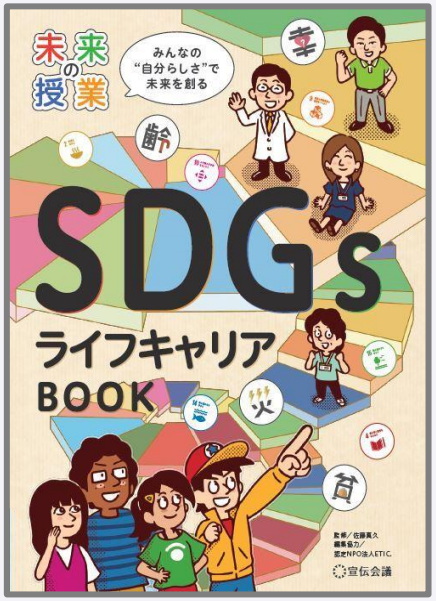
	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021	
				見通し	中計目標
Green Index	100	105	102	114	126

Ⅵ. ESG・SDGsに向けた取り組み①

環境社会報告書『SEIKO PMC REPORT 2020』を2020年11月に発行いたしました。

経営理念である『私たちは、新たな技術の創造により、人と環境が共生する豊かな社会の発展に貢献します』を実現するため、事業活動（製紙用薬品事業・樹脂事業・化成品事業）を通して、ＥＳＧ・ＳＤＧｓへの取り組みを進めています。

詳細はQRコードから



ＳＤＧｓ開発目標に対する具体的な取り組みが書籍「未来の授業－ＳＤＧｓライフキャリアＢＯＯＫ－」（2020年12月出版）に掲載されました。

この書籍は、全国の小・中・高等学校（約３万５千校）へ配布され、子供たちの探求学習の一助となるＳＤＧｓをテーマにした授業教材として活用がされています。

詳細はQRコードから

Ⅵ. ESG・SDGsに向けた取り組み②

星光PMCグループの経営理念に基づき、事業活動を通して、ＥＳＧ・ＳＤＧｓに取り組んでいる事例について、ご紹介します。